

# 大阪湾東部海域における

# 流網漁業操業(投網・揚網中)

## における安全確保について

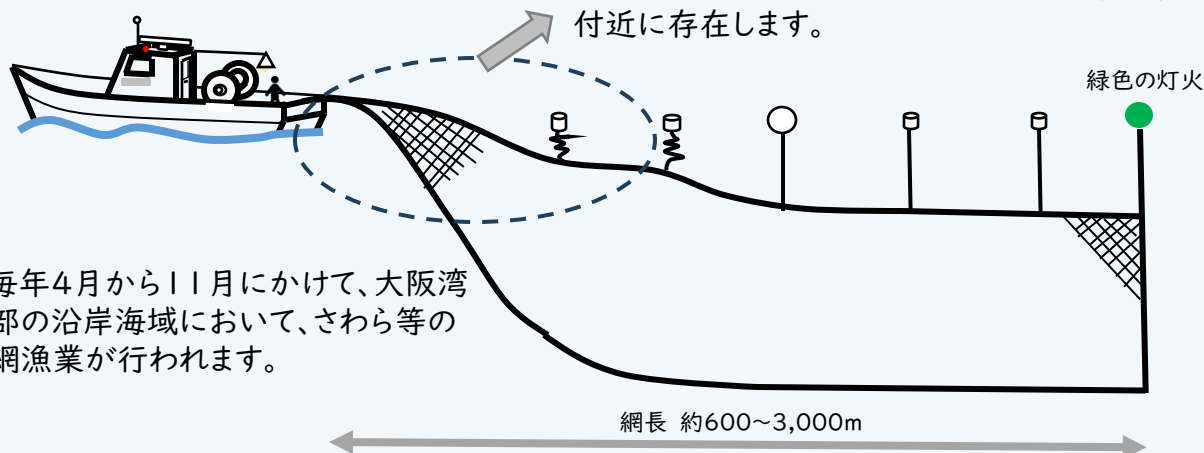
大阪湾東部海域において、流網の操業における投網・揚網中の漁船の後方直近を船舶が通航すると、ワイヤーロープや網と接触し、場合によっては漁船の転覆に至る可能性があります。

海上交通安全法、海上衝突予防法を遵守いただき、下記事項にご留意していただき安全航行をお願いします。

### 流網漁業（揚網・投網の操業）

#### 投網・揚網の状況

漁船のすぐ後方はワイヤーロープや漁網が海面付近に存在します。



### 航行上での注意事項

#### 厳重な見張りの励行

目視及びレーダーで見張りを実施し、流網の操業位置の把握をしましょう。

#### 操業漁船の後方直近を避ける

投網・揚網時の漁船のすぐ後方はワイヤーや網が海面付近に存在するので通航を避けましょう。

#### 早期避航動作

網が長いので、早めの避航動作をとりましょう。

#### 国際VHF(CH16)の常時聴取

他局からの呼出しがわかるようボリュームをあげておきましょう。

